╭──────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────╮

│ > これを、エックスサーバーに、VSコードでSFTP接続したいのですが、現にこの元データで接続中です。修正後の動作を確認するためにはサブドメインか │

│ 何かが必要でしょうか？具体的にはどうすればよいか、手順を教えてください。 │

╰──────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────────╯

✦ はい、承知いたしました。

現在のウェブサイト（本番環境）に影響を与えずに、修正した新しいバージョンの動作を確認するためにサブドメインを利用するのは、最も一般的で安全 な方法です。ユーザーのアイデアは正しいです。

具体的な手順を以下に示します。

---

手順の概要

1. 【Xserver】サブドメインを作成する: テスト用のURL（例: test.your-domain.com）を用意します。

2. 【VS Code】修正したファイルをアップロードする: 作成したサブドメイン用のフォルダに、修正後のファイルをSFTPでアップロードします。

3. 【ブラウザ】動作を確認する: サブドメインのURLにアクセスして、表示や動作が問題ないか確認します。

4. 【VS Code】本番環境へ反映する: 確認後、問題がなければ本番環境のファイルを新しいファイルで上書きします。

---

詳細な手順

ステップ1: サブドメインの作成（Xserver側での作業）

1. Xserverのサーバーパネルにログインします。

2. 「ドメイン」カテゴリの中にある「サブドメイン設定」をクリックします。

3. 対象のドメインを選択し、「サブドメイン設定追加」のタブを選びます。

4. サブドメイン名を入力します。例えば、testやstaging、devなどが一般的です。

\* 入力例: test

\* これにより、test.your-domain.com というアドレスが作成されます。

5. 「無料独自SSLを利用する」にチェックが入っていることを確認し、「確認画面へ進む」をクリックして設定を完了します。

\* ポイント: サブドメインを作成すると、サーバー内に対応するフォルダが自動的に作成されます。通常は /your-domain.com/public\_html/test

のようなパスになります。このパスは次のステップで使います。

\* 注意: 設定が反映されるまで数分〜1時間程度かかる場合があります。

ステップ2: 修正したファイルのアップロード（VS Code側での作業）

1. VS CodeのSFTP機能でサーバーに接続します。

\* すでにお使いの接続設定を利用します。

2. サブドメイン用のフォルダに移動します。

\* VS Codeのファイルエクスプローラー（SFTP）で、サーバーのルートディレクトリから、ステップ1で作成されたフォルダ（例:

/your-domain.com/public\_html/test）に移動します。

3. 修正したファイルをアップロードします。

\* ローカルの C:\Users\nakos.000\OneDrive\一番最新20240722アップ用0819修正

フォルダにある、修正済みのすべてのファイルとフォルダ（index.html, css/, script/, images/

など）を、サーバー上のサブドメイン用フォルダ（/public\_html/test）の中にアップロードします。

\* フォルダごとドラッグ＆ドロップするか、右クリックメニューからアップロードを実行してください。

ステップ3: 動作確認（ブラウザでの作業）

1. ブラウザを開き、作成したサブドメインのURLにアクセスします。

\* 例: http://test.your-domain.com

2. 以下の点を確認します。

\* 表示の確認:

PCとスマートフォンの両方で表示崩れがないか確認します。（ブラウザのデベロッパーツールを使うとスマホ表示をシミュレートできます）

\* 動作の確認: ハンバーガーメニューの開閉、ページ内リンクのスクロールなどが正しく動作するか確認します。

\* 速度の確認:

ページの読み込みが速くなったか体感で確認します。デベロッパーツールの「Network」タブで具体的な読み込み時間を見るのも有効です。

\* エラーの確認: デベロッパーツールの「Console」タブにエラーメッセージが表示されていないか確認します。

ステップ4: 本番環境への反映（最終作業）

サブドメインでの確認が完了し、すべて問題ないことを確認できたら、いよいよ本番環境に反映します。

1. 【重要】現在の本番サイトのバックアップを取ります。

\* 万が一に備え、SFTP経由で現在の public\_html 内のファイルをPCにダウンロードしておくことを強く推奨します。

2. VS CodeのSFTPで、本番環境のフォルダ（例: `/your-domain.com/public\_html`）に移動します。

3. 修正済みのファイルをアップロードして、既存のファイルを上書きします。

\* ステップ2と同様に、ローカルの C:\Users\nakos.000\OneDrive\一番最新20240722アップ用0819修正 フォルダの中身を、今度は本番用の

public\_html フォルダにアップロードします。

\* 同名のファイルはすべて上書きされます。

4. 最後に、本番サイトのURLにアクセスして、最終確認を行います。

この手順で進めることで、安全にサイトの更新作業を行うことができます。もし不明な点があれば、お気軽にご質問ください。